

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。

# ボーリング柱状図

調査名 舞鶴中ブロック小中連携校(仮称)新設工事地質調査業務委託

ボーリング																				
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シート

ボーリング名	No. 7		調査位置	福岡市中央区舞鶴2丁目6番6号				北緯	33° 35' 31"					
発注機関	福岡市財政局アセットマネジメント推進部施設建設課			調査期間	平成 22年 9月 21日 ~ 22年 9月 24日				東経	130° 23' 28"				
調査業者名	株式会社和晃地質コンサルタント 電話(092-861-6421)		主任技師	持田拓児		現代場代理人	持田拓児		コ鑑定者	持田拓児		ボーリング責任者	太田知章	
孔口標高	TP +2.29m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	YBM-05		ハンマー落下用具	トンビ		
総掘進長	34.09m		度	向		エンジン	EFAD-8		ポンプ		GP-3			

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					N 値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 (掘進月日)				
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10							20			
1	0.79	1.50	1.50		埋土	茶灰 茶灰			0-0.4mは砂 0.4-0.8mは礫混じり砂 0.8m以深は礫シルト混じり砂の埋土 植物根を混入する	9/21 1.40	1.15	1	1	1	3	3									
2	-0.31	1.10	2.60		シルト質砂	暗灰			シルト分を多く含み、細砂~微細砂状の砂。2.3-2.5mは粗中砂を部分的に含む		1.45	1	1	1	3	3			2.15	P7-1	物理3				
3	-1.01	0.70	3.30		砂混りシルト	暗灰			含水多く非常に軟らかい 細砂を混入する		2.45	0	1	1	2	1			3.00	P7-2	物理2				
4					細砂	暗灰			細砂主体で所々貝殻片を混入する 3.4m付近に径50mm位の礫を点在する		3.00	0	1	1	2	1			3.45						
5	-3.21	2.20	5.50		砂混りシルト	暗灰			含水多く非常に軟らかい 貝殻片、中砂を混入する		4.15	4	4	5	13	13			4.45						
6	-4.31	1.10	6.60		砂混りシルト	暗灰			含水多く非常に軟らかい 貝殻片、中砂を混入する		5.15	1	1	1	3	3			5.45	P7-3	物理3				
7											6.15	1		1	3	1			5.45						
8											6.45	5	5	4	14	14			6.15	P7-4	物理2				
9					粗中砂	灰 淡灰			石英質で洗われた砂でザクザク状を呈する 8.3-8.5mは粘土分を混入する 10m付近に径20mm位の礫を点在する		7.15	5	5	4	14	14			6.45						
10											8.15	2	2	3	7	7			8.15	P7-5	物理3				
11											8.45	8	9	9	26	26			8.45						
12	-9.71	5.40	12.00		礫粘土混り粗中砂	黄褐灰 淡灰			径5-20mm位の礫を混入し、部分的に砂質粘土状となる		9.15	8	9	9	26	26			9.45						
13											10.15	8	9	9	26	26			10.45						
14											11.15	5	5	6	16	16			11.45						
15											12.15	8	9	9	26	26			12.45	P7-6	物理3				
16	-13.81	4.10	16.10		粘土	暗茶灰 淡茶灰			含水少なくやや硬い 全般に腐植物を混入する 所々、細砂をシーム状に挟在する		13.15	15	6	8	29	29			13.45						
17											14.15	12	9	5	26	26			14.45						
18											15.15	12	12	9	33	33			15.45						
19											16.15	3	3	3	9	9			16.45						
20	-17.51	3.70	19.80		粘土混り粗中砂	淡灰 淡青灰			石英質でザクザク状の砂である 所々粘土分を混入し、部分的に粘土分多く、砂質粘土状となる		17.15	2	2	2	6	6			17.45	P7-7	物理2				
21											18.15	3	3	3	9	9			18.45						
22											19.15	5	4	4	13	13			19.45						
23	-21.21	3.70	23.50		砂質粘土	淡青灰			含水少なく硬い 中砂~粗砂を多く混入する		20.15	16	20	14	50	56			20.42						
24											21.15	8	9	10	27	27			21.45	P7-8	物理3				
25	-22.71	1.50	25.00		礫粘土混り粗中砂	淡青灰			径5-30mm位の礫を混入する 石英質でザクザク状の砂主体である 所々粘土分を混入し、部分的に粘土分多く砂質粘土状である		22.15	18	23	9	50	65			22.38						
26											23.15	14	14	8	36	36			23.45						
27											24.15	3	3	4	10	10			24.45	P7-9	物理2				
28											25.15	4	5	7	16	16			25.45						
29	-27.01	4.30	29.30		頁岩	黄褐灰 灰 暗緑灰			コアは礫状~短棒状コアで採取される コアはハンマーの軽打で割れる硬さである		26.15	12	12	15	39	39			26.45	P7-10	物理3				
30											27.15	14	15	17	46	46			27.45						
31											28.15	12	16	16	44	44			28.45						
32											29.15	16	21	13	50	58			29.41						
33											30.05	50	9	9	50	167			30.14						
34	-31.80	4.79	34.09								31.15	21	29	8	50	83			31.33						
35											32.05	50	6	6	50	250			32.11						
											33.05	21	29	50	75			33.25							
											34.05	50	4	4	50	375			34.09						